

# そよかぜ

## 通信



発行責任者

北本市議会議員 **金森すみ子**



〈2024年7月 No. 21〉

連絡先 金森すみ子とあゆむ会

北本市東間 8-230-172

電話・Fax 048-542-8794

e-mail yts1171124914@gmail.com

梅雨が明けた途端に、セミの声が勢いづいて、この夏の厳しさを予感させます。

北本市では6月より、熱中症対策として「クーリングシェルター」の名称で、公民館などの公共施設内の一部を「暑熱避難施設」として指定しています。

「熱中症特別警戒アラート」が発表された際には、どなたでも利用し暑さをしのぐことができます。飲み物は持参となりますが、遠慮なくお使い下さい。

\*-----\*

### ① 令和6年第1回北本市議会臨時会 が開催されました (4/24)

・市長からの提出議案 → 条例3件、人事案2件、など合計5件

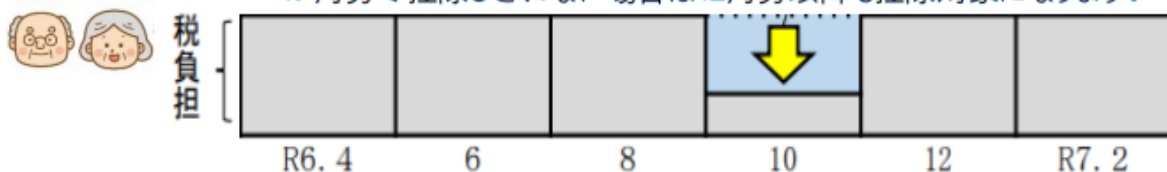
### 令和6年度分 個人住民税の定額減税を実施 (6月から始まっています)

国は、賃金の上昇が物価高に追いついていないとして、国民へ税金を還元し、負担緩和を図ります。

北本市の徴収に関する、令和6年度分の個人住民税については、**1人あたり1万円が減税**されます。納税者と同一生計の、配偶者や扶養家族も、1人につき同額の減税です。

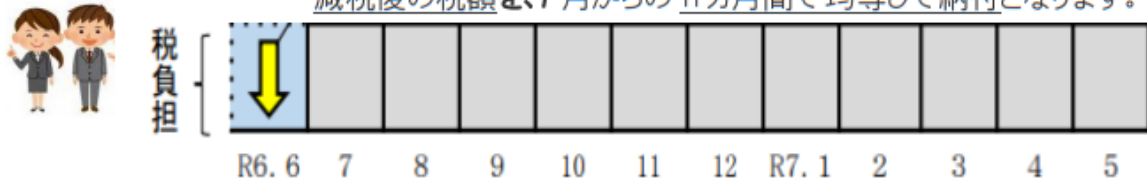
#### ▶ 年金所得の方 → 10月から控除が実施されます。

10月分で控除しきれない場合は12月分以降も控除対象になります。



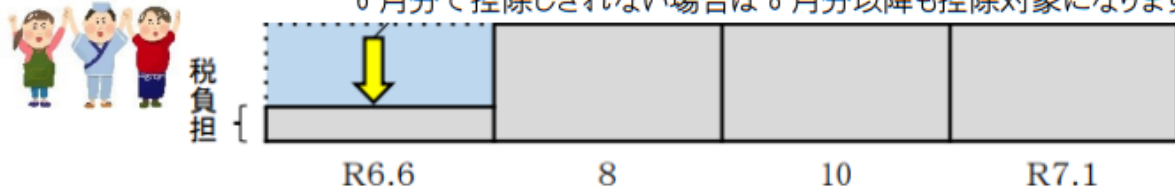
#### ▶ 給与所得者の方 → 6月分は徴収されていません。

減税後の税額を、7月からの11カ月間で均等して納付となります。



#### ▶ 事業所得者等の方 → 6月から控除が実施されています。

6月分で控除しきれない場合は8月分以降も控除対象になります。



自分の住民税の減税はされているのかしら？と心配されている方もいらっしゃるかと思います。その場合は、「納税通知書の裏面」や「特別徴収税額通知書の摘要欄」に減税額の記載がありますので、確認してみてください。



また、定額減税により、北本市の個人市民税収入は2億8,600万円ほど減りますが、国から地方特例交付金により補填されます。

\*-----\*



## ② 令和6年第2回北本市議会定例会 が開催されました (6/5～27)


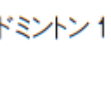

- ・ 市長からの提出議案 → 条例3件、補正予算3件、人事案2件、など合計9件
- ・ 議員からの提出議案 → 請願1件

### 公民館・集会所などの使用料が変わります (令和7年4月1日利用分から)

公民館・集会所などの利用料については、昭和58年に条例で定めてから手付かずでした。今年度に指定管理者の選定が行われることを機会に、使用料金の適正化を図ります。



〈 例 北部公民館の場合 〉

		現在	改定後		
講義室	午前	1,000円 →	850円		
	午後	1,000円 →	1,150円		
	夜間	1,000円 →	1,150円		
	全日	3,000円 →	3,150円		
和室	午前	1,000円 →	450円		
	午後	1,000円 →	650円		
	夜間	1,000円 →	650円		
	全日	3,000円 →	1,750円		
体育室(全面) 	午前	1,000円 →	(全面) 1,750円	(2分の1) 900円	(8分の1) 250円
	午後	1,300円 →	2,350円	1,200円	300円
	夜間	2,000円 →	2,350円	1,200円	300円
	全日	4,300円 →	6,450円	3,300円	850円
(バドミントン1面) 	午前	500円			
	午後	700円			
	夜間	1,000円			
	全日	2,200円			
(卓球1面) 	午前	100円			
	午後	200円			
	夜間	300円			
	全日	600円			

〈 使用料金の算定 〉  
 = 各施設の1㎡当たり維持費  
 (人件費や光熱費など)  
 × 利用面積  
 × 利用時間  
 × 利用者負担50%

〈 変更の内容について 〉

- ・ 新料金の算定の結果、現在料金より1,000円以上上回る場合は、現在料金の1.5倍を上限とします
- ・ 体育室については、様々なスポーツ種目に対応できるように、“利用する広さ”で料金を設定します
- ・ 個人利用の設定はなくなります
- ・ 市外居住者は、100%増しの料金になります

北本市と近隣市を、同様な施設の利用料金(特に体育施設)について比べてみると、北本市は安価な状況です。市外からの施設利用が増えてきていて、北本市民なのに利用予約が取りにくいこともあるようです。また、公共施設の経費においては、利用者が適度な負担をして、利用しない人との公平・適正を図ること(受益者負担)が原則です。議会からも、改定の提案がなされていました。

今回の改定で、近隣市との差は改善されます。けれど、公民館毎にそれぞれ利用料金が異なる等、利便性に課題があるようです。今後も注視してまいります。



## 令和6年度一般会計予算は総額253億 1,467 万円に (8億9,447万円を追加)

### ▶「令和6年度定額減税」で減税しきれない方への給付 (5億4,483万6千円、対象者12,500人)

納税義務のある方で、この度の「定額減税」で、減税しきれない場合(通常納税額一定額減税額 < 0円)は、その差額が給付されます。対象の方には、“給付決定通知書”または“確認書”が7月中旬に発送されます。詳細は、広報7月号・市ホームページでご確認下さい。

### ▶ 民間の保育施設を新たに2か所設置します (1億4,278万2千円)

0～2歳児を対象にした小規模の保育施設2か所(※参照)が、令和7年4月までに開所予定です。市は、建設や改修の費用を補助し、待機児童の縮小を図ります。

今年4月時点の待機児童は、1歳児21人、2歳児11人です。

来春からは、0歳児6人、1歳児16人、  
2歳児16人、の受け入れ枠が増えます。

(※) 1つ目は、深井地区の学校法人若山学園内に新築  
2つ目は、北本団地商店街内に(株)湯浅が設置



### ▶ 南学童保育室の混雑を解消するために

#### 石戸第2学童保育室(旧栄小の校舎内)を利用します (73万9千円)

南学童保育室の利用者は、増加が著しく、石戸第2学童保育室の空きスペースを利用して、混雑の緩和を図ります。対象となる利用者を、南小から石戸第2学童保育室まで、マイクロバスで1日2回送迎します。送迎時のガソリン代と人件費を補助し、トイレ改修を行います。



### ▶ 今年度の新型コロナワクチン接種は、10月以降です (1億4,377万4千円)

対象者は、65歳以上の方など、高齢者インフルエンザ予防接種と同様です。個別通知はなく広報紙などでお知らせします。ご自身の判断で受けることになります。自己負担は3,300円予定。

## お知らせ

### 北本高校の生徒さんと 模擬議会を開催します (8/9)

市議会では、高校生に政治への関心を高めてもらいたいと、議場を公開し、民主主義政治の体験してもらいます。

### デーノタメ遺跡は今秋に国指定史跡へ 記念式典を開催します (11/30)

今秋に正式に国指定史跡となる運びとなりました。国による文化財の新指定は、「1922年の石戸蒲ザクラ」以来、102年ぶりです。





## 金森すみ子の一般質問

### ① 子どもの健康づくりへの取組について(保育所)

**問** 北本市の18歳以下の医療費は、今年度予算は3億円を越え、ふるさと応援基金を充当し対応している状況です。無償化の対応がなされ医療にかかりやすいことは、早期治療に繋がりが良いことです。けれど、根本的な幼少期からの身体づくりに着目することも大切で、将来の夢をかなえるための土台づくりとなります。本市の公立保育所での取組みの状況は。

**答** 内科等の健診実施と共に、はだし保育、リズム遊び、年長時の雑巾がけなどで、バランス感覚、脳の働きや運動能力等を養う取組みをしています。食育では、食べる喜び楽しさを知り、様々な食べ物への興味や関心等を持つことを目的に、畑で野菜作りを行い、収穫した野菜を使ったクッキング保育を行っています。保育所は、子どもの人間形成にとって極めて重要な時期にその生活時間の大半を過ごす場となるため、健やかな育ちの実現につながるよう取組んでいきます。また、保護者との相互理解も重要であり、保育に関連した様々な機会を利用して、子どもの様子の伝達や保育所の取組みの意図等の説明に努めています。

**【要望など】** 幼少期からの身体づくりは、大人になってからの健康寿命に影響します。保育所も今は、待機児童を抱えていますが、今後は保育の質を問われる時代へ移行していきます。人材、環境、保育内容などの充実を要望します。



### ② 不登校児童生徒の健診について

**問** 不登校の児童生徒は、学校での健診を中々受けることができず、健康リスクが大きいとの指摘があります。大阪府吹田市では、「健診は学校生活のためだけでなく、将来の生活のためにも必要である」との考えで、学校外での健診費用を補助しています。本市の見解は。

**答** 学校外で健診を受診した場合の費用補助は、現在ありません。できる限り学校で受診するよう働きかけています。早めに健診日を伝え心の準備期間を設けたり、周りの目が気にならないよう受診時間を調整するなど、家庭と連携を図り、不登校児童生徒に寄り添いながら、受診しやすい環境づくりに努めます。

**【要望など】** 吹田市で学校外健診を受けた子どもからは、「健診が受けられて嬉しく安心できた」との声があるようです。保護者の不安も軽減できます。「学校にいけない子どもがいる」という前提の下で、健康を支える仕組みをつくる必要があると考えます。

**③ 高齢者の支援について** 一人暮らし高齢者が亡くなった際に、ご遺体やご遺骨の引き取り手がない事例が急増しており、苦慮している自治体もある。北本市の状況について問うと、微増とのこと。その他に、ペットを飼育しきれない、など高齢者の困りごとは多様化している。市は地域包括支援センターと共に、民生委員の協力を受け、高齢者が地域とのつながりを絶やさないよう努め、困りごとに対応している、とのこと。

**④ 学校の校務のより良い効率化について** 子どもたちの育み、地域との共生を考えると、デジタル化・働き方改革をただ推し進めれば良いものなのか、より良い効率化の見極めについて問う。

**⑤ 公園の暑さ対策について**

盛夏時でも早朝や夕方に屋外で活動する方が多い、公園の日陰・木陰づくりを求める。



**⑥ 道路標識などの保守点検について**

「カーブミラーが突然根元から折れ歩行者に倒れ掛かった事故」を受け、保守点検の効率化を求める。

\*\*\*\*\* 議員提出議案 \*\*\*\*\*

▶ 広報きたもと等の音声データ化の充実に関する請願

採択(全会一致)